

市民の負託に応じて…。

# おかや 市議会だより

Okaya City Assembly News

## 第13号

2018年(平成30年)  
10月25日発行

発行:岡谷市議会 / 編集:議会広報広聴委員会

特集 **決算  
認定**



## 岡谷市総合防災訓練

9月2日(日)に、3年に1度の岡谷市総合防災訓練が岡谷西部中学校庭で開催されました。雨の中、本番さながらの真剣な動きは緊張感に溢れ、的確で迅速な訓練となりました。岡谷市議会では、訓練開始前に、かつて岡谷市が被災し8名もの尊い命が失われた平成18年7月豪雨災害の湊、橋原の災害伝承碑を回りました。

今年は、全国各地で地震や豪雨、大型台風など、度重なる災害により被害が出ていることから、改めて、防災・減災への取り組みの重要性を認識する1日となりました。



湊の災害伝承碑にて

### ●もくじ

【特集】平成30年第4回定例会

平成29年度各会計決算を認定しました ..... 2~5

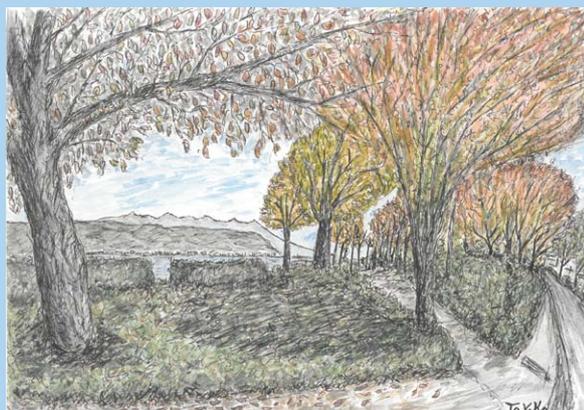
議案賛否一覧 ..... 5

諏訪湖周3市町合併について、平成30年第3回臨時会 ..... 6

委員会活動報告ほか ..... 7

フォトレポート ..... 8

編集後記 ..... 8



おかやの四季「秋の湖畔並木」

# 平成29年度 各会計決算を認定しました

平成30年 第4回定例会（9月議会）

平成30年9月3日（月）から平成30年10月1日（月）までの29日間の会期で開かれ、報告案件が1件、人事案件が1件、一般議案が4件、議員提案が4件、決算議案が11件、計21議案等が審議されました。

なお、平成29年度一般会計・特別会計・企業会計の決算（11議案）は決算特別委員会に付託され、審査を行い10月1日に開催された本会議において、委員長報告が行われました。（委員長報告の内容は岡谷市議会ホームページに掲載）

各会計の決算関係について、決算特別委員会での主な議案の審査経過をお知らせします。

会計名	歳入決算	歳出決算	差し引き	結果
一般会計	19,800,556,585	19,112,430,161	688,126,424	認定
国民健康保険事業特別会計	5,595,433,992	5,373,234,466	222,199,526	認定
地域開発事業特別会計	11,938,158	337,713,567	△ 325,775,409	認定
分収造林事業特別会計	5,457,025	4,218,394	1,238,631	認定
霊園事業特別会計	79,993,772	16,104,265	63,889,507	認定
温泉事業特別会計	40,518,635	26,356,603	14,162,032	認定
後期高齢者医療事業特別会計	762,051,877	742,580,977	19,470,900	認定
湊財産区一般会計	12,461,193	3,936,063	8,525,130	認定
水道事業会計（収益的収支）	921,432,293	697,498,957	223,933,336	認定
下水道事業会計（ // ）	1,732,637,822	1,507,521,023	225,116,799	認定
病院事業会計（ // ）	7,108,140,485	7,162,603,383	△ 54,462,898	認定

（円）  
（企業会計収益的収支 消費税込み）



## 決算特別委員会

### 一般会計・特別会計

【委員長】笠原征三郎  
【副委員長】今井義信  
【委員】早出一真／中島保明  
渡辺雅浩／笠原順子／浜幸平



## 岡谷市一般会計 歳入歳出決算認定

**問** 市長の決算に対する総合的評価について

**答** 6つの重要施策に全力で取り組み、全ての施設において供用を開始することができた。一方で、安定した行財政基盤の確立に向けた取組みが重要となってきた。

政府の経済対策により、法人市民税や

固定資産税の増収などにより、当初予算に比べ約6500万円の増収となったほか、国からの交付金等も増収となっている。

一部を除く基金からの繰入金を実施せずに、財政調整基金や減債基金などへの積立を2億5千万円実施しながらも、実質収支で6億6500万円余の黒字を確保できた。

将来の負担に影響する市債の状況は、キャップ制の徹底などにより、平成29年度末の現在高は、約240億5千万円で、前年度比約10億4千万円の減となっている。

全国的な動向と同様に人口減少により行財政運営が深刻になってくる予想であるが、国の動向などに注視しながら、継続的で健全な財政運営に最大限の努力をしたい。

### 問 マイナンバー制度について

**答** 平成29年度末におけるマイナンバーカードの発行件数は、4,758件で、人口に対する交付率は9.5%で、前年度比2ポイントの増となっている。マイナンバーカードの利用方法については、窓口で提示することにより、本人に限り印鑑登録証明書の発行サービスを実施しているほか、児童手当などの申請時にマイナンバーを記入することで、課税証明や住民票の写しの提示が省略されるサービスも行っており、今後、



決算特別委員会審査の様子

マイナンバー制度も活用方法が広がりがつつある。

**問** 児童・生徒の安全対策事業について

**答** 「岡谷市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、道路管理者、学校、PTA、警察署等関係機関で組織する岡谷市通学路安全対策会議の開催と合同点検を行うとともに、平成30年度までの3ヶ年計画による安全対策を実施しており、安全対策が必要と判断した市道通学路38箇所のうち、平成29年度は9箇所の安全対策を実施した。

### ○ 討論の概要

#### ◆ 反対討論（反対意見）

市行政を支える職員の過半数が非正規職員という実態は改善すべきである。また、諏訪湖ハイツの入浴料の値上げは、明確な住民サービスの低下であること、1千万円以上の建設工事の落札率

が97.41%となつていっているうえに、建設工事に係る100%落札率が8件もあること、個人情報漏洩の危険性や行政のあり方を変質させるマイナンバー制度は中止すべきと考えること、商工業振興補助金については、さまざまな視点を踏まえたうえで制度の改善を求めるほか、諏訪湖S A併設のスマーティンターチェンジ整備や立地適正化計画の策定などは不要不急の事業であり、中止すべきと考えるため、本決算認定には反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

平成29年度は、緩やかな景気回復基調による法人市民税の増収、大型商業施設の開店や企業の設備投資に伴う固定資産税の増収によって、前年度を上回る市税収入となり、その結果、実質収支額は6億6500万円余の黒字が確保された。さらに、自主財源比率においても、平成28年度を上回る50%を超えることができただけでなく、財政力指数や経常収支比率においても改善が図られ、財政運営の硬直化は改善されつつある。また、近隣市町村と比較しても見劣りしない商工業振興補助金の運用、新技術・新製品ものづくり企業応援事業補助金など、ものづくりのまち岡谷を推進し、今後の市財政への波及効果の大きい事業にも取り組んでいる。今後、さらなる少子・高齢化

社会の進展に伴う社会保障関連費の増加、また、子供の貧困問題に代表されるような所得格差が世代を超えて広がるなど、難しい行政運営が想定されるが、課題解決へ向けての柔軟性と俊敏性を発揮され、市政発展と市民福祉の向上を切望し、本決算認定に賛成する。

※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

岡谷市国民健康保険事業  
特別会計歳入歳出決算認定

問 加入状況について

答 国保税を滞納している方については、きめ細かな相談をさせていただく中で、国保税の計画的な分納に応じるとともに、関係部署との連携を密にして、必要な対応をしている。

○討論の概要

◆反対討論(反対意見)

国保加入者の多くが年金生活者、失業者、非正規労働者、自営業者など、厳しい生活を強いられている方々という構造的問題を抱えた会計であり、そのことも起因して、国保税の重税状況は極限まできている。また、国保の都道府県化に伴い、国保税の引き上げが想定される中で、一般会計からの繰り入れなどの決断をすべきだっ

たと考える。そのような対応がされていない決算であることから、本決算認定には反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

大変厳しい国保会計の中で黒字計上できたことは評価できる。国保の財政運営の責任主体である県への移行準備も順調に行われているため、本決算認定に賛成する。

※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

※その他の特別会計等についても原案のとおり認定されました。



企業会計

【委員長】遠藤真司

【副委員長】大塚秀樹

【委員】藤森博文／今井秀実

今井康善／八木敏郎／渡辺太郎



岡谷市水道事業会計  
決算認定

【概要】

・水道の需要について、年間総配水量625万6561m<sup>3</sup>、年間総給水量532万4245

m<sup>3</sup>で、平成28年度に比べ総配水量5万6136m<sup>3</sup>、総給水量7万12m<sup>3</sup>の減となった。

・収益的収支は、総収益8億5905万円に対し総費用6億6775万円で、収支差引き1億9131万円の純利益となった。なお、水道料金の改定(9.7%の引上げ)に伴い、給水収益(水道料金)は、7億7742万円



円で、前年度比2842万円の増となった。

・資本的収支は、工事負担金及び企業債国庫補助金の収入合計1億5409万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計が、5億6400万円となった。差引き不足分4億991万円に対する財源は、内部留保資金等で補填した。

問 水道料金改定について

答 改定は、施設の状況や経営状況から判断し、必要であったと考えている。負担増による相談はなかったが、引き続き個別の事情や疑問など相談に応じるとともに、他部署との連携を図る中できめ細やかな対応をしていく。

### 問 有収率の低下について

答 主な原因は漏水であり、地下の漏水の把握は困難ではあるが、平成29年度から新たに、人の聴覚に頼ってきた調査方法から、超音波による漏水調査手法を採用し始めた。早期発見につながると期待している。

### ○ 討論の概要

#### ◆ 反対討論(反対意見)

7月からの水道料金9.7%の引上げで3500万円の増収とのことであるが、市民生活の苦しさが増す中の料金改定はすべきではなかったと考えることから、本決算認定には反対する。

#### ◆ 賛成討論(賛成意見)

水需要の低迷や施設の老朽化が進む中で、経費削減や収納率の維持向上に努めながら、水道料金改定により水道設備再構築の財源を確保することができた。今後も危機管理の徹底と更なる経営努力を要望し、本決算認定に賛成する。  
※委員会では、賛成多数により原案のとおり認定されました。

## 岡谷市下水道事業会計

### 決算認定

#### 【概要】

・市内未整備地区0.55haの整



水道施設に関わる現地視察

- ・間下減圧槽(上)
- ・下水道ポンプ自家発電(右)

備を行った(整備率88.4%)。下水道の接続戸数は、2万286戸(接続率97.7%)、年間汚水量は561万5995m<sup>3</sup>で、前年度と比べ7万1420m<sup>3</sup>の減である。

- ・収益的収支は総収益16億5503万円に対し、総費用14億4163万円で、収支差引2億1340万円の純利益となった。
- ・資本的収支は、企業債、補助金、負担金の収入合計7億3388万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計13億8195万円となった。収支不足額6億4808万円は、内部留保資金等で補填した。

### 問 下水道使用料について

答 岡谷市は幹線整備をほぼ終えており現在は維持管理の時代である。経営戦略では、現在の使用料水準で試算すると、2025年度に収

益的収支の単年度利益が赤字になることが予想されるため、この2025年度に使用料引上げ改定により収支バランスがとれるよう財政シミュレーションをしている。

### 問 雨水渠整備について

答 郷田幹線(雨水渠)整備工事は、平成30年度の諏訪倉庫前から蚕糸博物館入口交差点までをもって完了となる。なお、平成29年度末の雨水渠整備事業の市内全域の進捗状況は3%である。

### ○ 討論の概要

#### ◆ 賛成討論(賛成意見)

未整備地区の解消、管路の長寿命化・耐震化が着実に行われ、約2億1千万円の純利益を計上されたことに敬意を表する。

今後も、中長期的な視点で計画的に事業に取り組み、施設の維持管理を着実に進めるとともに、一層の経営努力を期待し、本決算認定に賛成する。  
※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。

## 岡谷市病院事業会計

### 決算認定

#### 【概要】

・平成29年度の病院運営は、市民病院として地域に密着した医療を安定的に行うため、診療体制

の充実と質の高い医療の提供に取り組んできた。

- ・整形外科の常勤医師の1名の増員ほか、初期研修医1名を受け入れた。また、看護師においては、新たに職場見学会を開催し人材確保に努め、作業療法士を増員しリハビリテーション科の充実を図った。

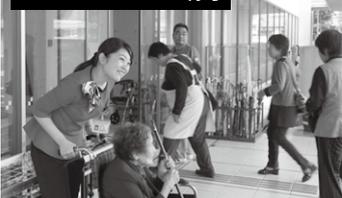
決算については、旧健康保険岡谷塩嶺病院施設の解体費用等を特別損失に計上したことから、総収支は5655万円の純損失。経常収支は約5019万円で、7年連続の黒字を計上した。

### 問 患者サービスについて

答 医療コンシェルジュをエントランスロビーに配置し、来院者に対する案内や受付サポートなど病院スタッフだけでは担えない部分を補っている。多くの好意のご意見をいただき、高評価を得ている。

病棟クラークは、2つの急性期病棟に配置し、これまで看護師が担っていた入退院に係る書類整理や窓口における患者さんや家族への対応、他病棟との連携業務、病棟の環境整備等を行っている。看護師が本来の専門

コンシェルジュの様子



●平成29年度 各会計決算を認定しました



療体制の充実と、より質の高い医療の提供に一層の努力をお願いし、本決算認定に賛成する。  
 ※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。  
 (質問は各会計とも主な点のみ掲載しております。)

業務に取り組める環境整備が図られ、一定の効果があった。  
 待ち時間は、現状では大きな改善には至っていないが、平成30年度から配置するブロック受付のスタッフと看護師がうまく連携することで待ち時間の苦痛軽減が図れるように取り組んで参りたい。

○**討論の概要**  
 ◆**賛成討論(賛成意見)**

平成29年度は、診療体制の強化や安定した経営の確立などが求められる年度であったが、医師確保による患者数の増加や高い病床利用率などにより、経常収支で約5010万円を計上、7年連続の黒字を達成したことに敬意を表したい。しかし、依然として人材確保や待ち時間の改善等の課題もある。自治体病院として、更なる診

# 各議員の議案賛否一覧表

## 【第3回臨時会】議案賛否一覧

議案番号	件名	審議結果	武井富美男	今井義信	早出一真	渡辺雅浩	今井秀実	笠原征三郎	中島保明	藤森博文	遠藤真弓	笠原順子	今井康善	小松壮	大塚秀樹	八木敏郎	浜幸平	渡辺太郎	
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度岡谷市一般会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度岡谷市一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	岡谷市・諏訪市・下諏訪町合併協議会の設置について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	

## 【第4回定例会】賛否が分かれた議案一覧

議案番号	件名	審議結果	武井富美男	今井義信	早出一真	渡辺雅浩	今井秀実	笠原征三郎	中島保明	藤森博文	遠藤真弓	笠原順子	今井康善	小松壮	大塚秀樹	八木敏郎	浜幸平	渡辺太郎
議案第46号	平成29年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成29年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成29年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成29年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長：議長職のため採決に加わらず ○：賛成 ×：反対

## 【第4回定例会】全会一致により可決等された議案等一覧

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第13号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第58号	岡谷市工場立地法準則条例
議案第48号	平成29年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第59号	平成30年度岡谷市一般会計補正予算(第4号)
議案第49号	平成29年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第60号	平成30年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第50号	平成29年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第61号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
議案第51号	平成29年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第62号	私立高校への公費助成に関する意見書 ※国あて
議案第53号	平成29年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	議案第63号	私立高校への公費助成に関する意見書 ※県あて
議案第55号	平成29年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	議案第64号	県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書
議案第56号	平成29年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	議案第65号	公立保育園・小中学校等公共施設へのエアコン設置に対する国の財政支援を求める意見書
議案第57号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		

※議案第62～65号については、意見書を関係行政等へ提出しました。

## 【第4回定例会】陳情の審査結果一覧

陳情番号	件名	常任委員会審査結果	
		総務	産業建設
陳情第90号	県道下諏訪辰野線拡幅改良事業に対する要望	-	採択
陳情第91号	岡谷市内危険箇所改修についての要望	-	趣旨採択
陳情第92号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	一部採択	-
陳情第93号	国に、主要農産物種子法の趣旨を盛り込んだ新たな法整備を求める意見書提出を求める陳情	-	不採択
陳情第94号	種子の生産・供給に関する県の条例制定を求める陳情	-	不採択
陳情第95号	主要農産物種子法廃止に際し、新たな法整備を求める意見書提出を求める陳情	-	不採択
陳情第96号	種子の生産・供給に関する県の条例制定を求める陳情	-	不採択

# 諏訪湖周3市町合併について

7/26(木)

諏訪湖周3市町の合併協議会設置について、市民の意見を聞く会を開催しました。

住民グループから合併協議会設置の請求が提出され、合併協議会設置の議案が臨時会に上程されることになり、議案審議の参考とするため、市民の意見を聞く会を7月26日(木)夜、市役所9階大会議室で開催しました。約60名の参加があり、9名の市民の皆さんが議員に向けて合併への思い等を語ってくださいました。

## 市民の皆さんからの主な意見

### 賛成

- 人口減少、少子高齢化、生産年齢人口の減少などにより、今の岡谷市ではもたないと思う。行政と議会が合併協議会で真剣に論議し、一定の方向を示して市民に投げかけてもらいたい。
- 無駄のない行政をするには、合併した方がスムーズに事は運ぶと思う。
- 問題提起をできるチャンスとして合併協議会を設置してほしい。

### 反対

- 国の財政が困難な中でも、経費節減しながら自立してやっていくという意思さえあれば、合併しなくてもいいまちができるのではないかと。
- 合併すると市民の声が届きにくくなると考え、合併協議会の設置には反対。
- 合併よりも広域行政組合の基本強化の方が重要だと考える。



8/20(月)

## 平成30年第3回臨時会(8月)

主な議案の審議経過

平成30年第3回臨時会が、8月20日に開催され、報告案件2件のほか、諏訪湖周3市町の法定合併協議会設置の是非を問う議案が審議されました。

### ◆議案第45号

## 「岡谷市・諏訪市・下諏訪町合併協議会の設置について」

臨時会では、議案上程を受け、議長を除く全議員15人で構成する合併協議会審査特別委員会を設置しました。委員長 今井 義信 副委員長 笠原征三郎

### 市長からの提案説明

直接請求は民意の一つとして尊重するが、合併には、住民や市町村間の理解の深まり、気運の醸成が大切で、現在はそうした状況に至っていないと認識している。あわせて、6市町村の枠組みで検討を始めることが理想であり、現時点では合併協議会設置の時期ではないと判断する。

〈その後、請求代表者の武井茂夫氏による意見陳述が行われ、合併協議会設置に対する議員の賛同を求めました。〉

特別委員会での委員からの主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

**問** 行政運営における合併の必要性は？

**答** 現在、諏訪6市町村では、介護、消防、ゴミ処理、諏訪東京理科大学の運営など諏訪広域連合、一部事務組合等において協働で事業が進んでいる。今は、広域行政の積み重ねが大事であり、市町村間の理解の醸成につながるものと思っている。

### ○本会議での討論の概要

#### ◆反対討論(反対意見)

合併により人口減少に歯止めがかかるのではないと考える。また、市民への十分な説明など段階的に進めることが重要であり、まだそのタイミングにきていないと判断することから本議案には反対する。

#### ◆賛成討論(賛成意見)

合併協議会では是非を含めて合併について協議をする必要がある。10年、20年後を見据え、今何ができるか、何をすべきか深く議論を掘り下げる時期ではないかと考え、本案に賛成する。

※採決により本議案は、賛成少数により否決されました。(※各議員の賛否は5ページに掲載)

# 委員会活動報告

## 社会委員会

7/3 (火)

### 市民からのご意見を行政へ！

7月3日、議会報告会で出されたご意見を正副委員長と担当部課長で意見交換しました。

市の一貫した姿勢『**困りごとは窓口、電話で相談してほしい。最善策を一緒に考えます**』でした。

＜主な内容＞

Q：要介護3以上でないと施設に入れないのか。

A：要介護1、2でも、特例入所要件に該当すれば入所できます。

Q：認知症の人でも入院できるようにしてほしい。

A：一律に入院できないということではなく、判断は医師がケースバイケースで慎重に行います。

Q：65歳で障がい福祉サービスから介護保険サービスに移行されてしまうが。

A：介護保険にないサービスは障がい福祉サービスから支援を受けます。

Q：歩道の草が交通安全上支障となるので、対応してほしい。

A：地域の区長と委員会の連名で市へ要請。  
(土木課で即日実施)

＜委員長 藤森博文  
副委員長 遠藤真弓＞



## 総務委員会

8/22 (水)

### P T A連合会と懇談会

総務委員会は、P T A活動や保護者、児童・生徒の皆さんの現状と課題を把握するために、8月22日にP T A連合会との懇談会を持ちました。まず、参加者、それも女性参加者が多かったことに関係P T Aの皆様に感謝します。

懇談会では、P T A役員の選出方法、学校・教室の環境などについて自由に話していただきました。ご自分の苦しい経験を吐露してくださった方もおられました。大変良い懇談だったと感じています。

今回出されました教室のエアコン設置要望につきましては議長名による市長への要望書及び国への意見書を提出しました。その他ご意見ご要望につきましては、当委員会に対応を考えていく所存です。

＜委員長 中島保明 副委員長 今井康善＞



## 産業建設委員会

10/4 (木)

### 郷田幹線(雨水渠)整備工事の現地視察

産業建設委員会は10月4日、郷田幹線(雨水渠)整備工事の現地視察を行いました。同工事は平成25年8月15日豪雨(時間雨量7.2mm)で塚間川流域の浸水被害が発生したことを受け、工事が始まりました。始点は今井新道の信号機「蚕糸公園前」で、終点は市役所立体駐車場の地下まで。耐用年数50年の鉄筋コンクリートによって、全長330mを結びます。市水道課の担当者から説明を受けた後、工事が終了した区間では、はしごを降りて、雨水管の中の様子も確認し、工事中の区間(写真)も視察しました。こうした防災・減災につながる事業が着実に進むことを切実に感じました。工事は、平成31年1月末に終了予定です。〈委員長 渡辺雅浩 副委員長 今井義信〉



### ●基本構想特別委員会が設置されました。6月22日(金) 委員長 大塚秀樹 副委員長 今井秀実

第5次岡谷市総合計画の策定に向け、基本構想特別委員会を設置しました。

同委員会は、議長及び副議長を除く全議員で構成され、策定段階から計画内容を十分に理解し、市民ニーズや課題を踏まえ、方向性を検証し、市民のための計画となるよう市側へ意見・提案をします。

さらに、議案が提出された後は、議会の議決事件(※)となっている基本構想に関する議案の審査を行います。

※議決事件：議会の行う議決の対象となる事項、事柄のこと



〈7/20 信学会東堀保育園を視察〉今年度より新たに幼保連携型認定こども園として開園。保育、教育課程の様子を視察しました。

信学会東堀保育園



〈7/20 諏訪湖スマートICアクセスルート案を視察〉湊小坂地区の現地にて説明を受けました。



## 市議会フォトレポート



〈8/14 岡谷太鼓まつり流し踊りに参加〉法被、浴衣姿で夏の市民祭を盛り上げました。



〈9/3 市側へ緊急要望書提出〉保育園・小中学校等公共施設へのエアコン設置を緊急要望しました。



〈8/17 諏訪地方議会議員交流マレットゴルフ大会〉ペンをクラブに持ち替え真剣勝負。

### 編集後記

本号は「決算認定」を特集しました。各事業がどのような成果を出し、今後どう活かされるのか、担当職員との熱いやり取りは緊張感がありました。

さて、8月10日には、下諏訪町議会広報特別委員会の担当議員と、議会だよりについて意見交換をしました。特に、先進的に取り組まれている「一般質問」の掲載については、新聞紙面では伝わらない詳細が理解できると好評で、岡谷市でも市民へ伝えるべき内容として必要性を感じました。この他も読み手が知りたい事、伝えるべき内容を更に検討する良い機会となりました。本議会だよりについても、皆様のご意見、ご感想をどしどしお寄せ下さい。

(今井康善)



### 議会広報広聴委員会

- 委員長／渡辺 太郎
- 副委員長／今井 義信
- 委員／渡辺 雅浩
- 委員／藤森 博文
- 委員／遠藤 真弓
- 委員／今井 康善
- 委員／大塚 秀樹

### 寄附行為の禁止

市議会議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

・政治家は有権者に寄附を「贈らない」・有権者は政治家に寄附を「求めない」・議員から有権者への寄附は「受け取らない」

### ＜寄附行為に該当する事例＞

- ・お祭り、運動会、親睦旅行会、会合等の行事や、入学式、卒業式の行事に対し、寄附、餞別、お祝い、差し入れ等をする事。
- ・個人に対し、お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝を贈ること(議員自らが出席する結婚披露宴への祝儀や葬式における香典は除く)。
- ・未成年者、社会福祉施設、市町村に対する寄附や年賀状、寒中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと(答礼のための白筆によるものを除く)。

